

佃幼稚園 平成30年度

学校評価公表シート（関係者評価）

平成31年3月31日

- ・年度末に関係者評価委員会にお集まりいただき、一年を振り返り評価をいただきました。
- ・園長を座長とし、口頭での討議に不慣れな方もいらっしゃる想定し、付箋を用いた「田の字法」で、ご意見を伺いました。
- ・ご意見を頂いた後に園長から、各意見に対し回答ならびに説明を行った。

※会議日程 平成31年3月12日

出席評価委員： 保護者を代表する委員 6名

進行役： 園長

設問①	「佃幼稚園」について、いいなと思う点や、好きなのは？
ご意見：	<ul style="list-style-type: none">○子供が子供らしく、自由にのびのびと遊んだり活動していると思う。 園児一人一人の遊び（個性）を尊重している○先生が子どものことをよく見ている。 先生がいつも笑顔で元気。よく遊んでくれる。子どもが好きそう。○行事などで、神社に関することや、日本の風習を大切にしており、 子供たちが経験できる。
設問②	「佃幼稚園」について、イマイチだなあと思うところ、嫌なところ、改善してほしいところは？
ご意見：	<ul style="list-style-type: none">○参観で兄弟関係の時間配分に余裕がない。○食後の歯磨き導入。○お誕生日付きの給食などは、全学年にして欲しい。○ひらがなや、カタカナを書けるようにして欲しい。（勉強時間。英語。）○ふたば会（保護者会）の役員の負担の軽減。 ふたば会の活動について、先生方の情報共有。○ふたば会の教養講座など、仕事の都合もあるので告知を早くして欲しい。
設問③	「佃幼稚園」について、今後、こうはなってほしくないなあと思うことは？
ご意見：	<ul style="list-style-type: none">○行事が減ってほしくない。○新たな取り組みに消極的になってほしくない。 今のまま何も変わらない。○親の意見など聞いてもらえない様にはなってほしくない。

設問④ 「佃幼稚園」について、将来、こうなっていったらいいなと思うことは？

- ご意見：
- 役員だけでなく、全保護者が園教寺にかかわれるようになってほしい。
 - 3年間のうちに1年は必ず役員に当たるようにする。
 - ふたば会役員の方々への、お疲れ様会の内容を良くしてほしい。
 - 役員会などに同席する未就園児への軽食など用意してほしい。
 - 小学校に行くまでに、ひらがななど書けるようにしてほしい。

2. 所感 並びに その他

子供たちが、様々な経験をし、のびのびと遊ぶ中で、主体的に活動できるように成長を援助する園の方針が受け入れられていると実感する意見が多かった。

一方、小学校への進学に向けて、勉強も取り入れて欲しいというニーズもみられた。遊びの中で、ひらがなやカタカナに興味をもったり、読み書きを伴う活動を取り入れていることを説明し、自由遊びの時間確保と、お勉強タイムの両立の難しさを述べるとともに、子供たちを取り巻く環境や地域ニーズを読み取り対応することの必要性も感じた。

在園期間中に親子遠足が無くなったことに触れ、残念とする意見が多くあった。

委員の方々が、ふたば会の活動に熱心だったこともあり、ふたば会に関する意見が多くみられた。少子化や、地域の高齢化などもあり、園児数も減っているなかで、ふたば会の運営についても改める必要を感じた。その中で、保護者会としての自主性も尊重しつつ、園としてもかかわっていく必要を感じた。しかし、保育者が保護者会のフォローの為に、保育が手薄になるようなことのないような配慮として、ふたば会の活動に関しては、一部の教職員のみで対応していることに理解を求めた。